



2019年5月14日

各位

会社名 株式会社 銀座山形屋
代表者名 代表取締役社長 小口 弘明
(JASDAQ・コード番号8215)
問合せ先
役職・氏名 管理部長 渡邊 光潤
電話 03-6866-0276

特別損失の計上及び通期連結業績予想と連結実績差異のお知らせ

当社は、2019年3月期第4四半期連結会計期間におきまして、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。それを踏まえ、2018年5月14日に公表した2019年3月期の通期連結業績予想と連結実績差異が発生いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失について

当社は、2019年3月期第4四半期連結会計期間において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、経営環境の変化等の影響を受け継続して営業損益の悪化となっている連結子会社の工場・店舗の固定資産（設備機械等）および当社の連結子会社であるファクトリー玉野株式会社事業譲受に伴うのれんの金額について、将来収益を保守的に見直した結果、特別損失として減損損失53百万円を計上することといたします。

2. 通期連結業績予想と連結実績との差異について

(1) 2019年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年5月14日)	5,709	194	250	200	115円90銭
実績(B)	5,587	113	175	85	49円37銭
増減額(B-A)	△121	△80	△74	△114	—
増減率(%)	△2.1	△41.4	△29.7	△57.4	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	5,398	153	214	105	61円20銭

(2) 修正の理由

利益面につきましては、営業利益、経常利益とも計画を下回る推移をしておりましたが、第4四半期連結会計期間は小売事業売上高が計画に対して92%と減少し、また上記特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益が予想を下回りました。

以上